

# 根田正樹教授の定年退職記念特集の 発刊にあたって

日本大学商学部長 高橋 史安

根田正樹教授は、1976年4月に日本大学商学部専任講師（扱い）に就任し、その後、専任講師、助教授、そして1988年4月に教授となり、2017年3月に至るまで41年間の長きにわたって商法担当の教員として日本大学商学部勤務されました。その間、教育・研究、そして大学運営に注力され、多方面で多大な貢献をされてきました。心からの感謝を申し上げる次第です。

根田教授は、学部運営面では企画委員会副委員長（1994年9月～1999年8月）、情報科学研究所長（1999年4月～2000年1月、2004年9月～2005年3月）、企画担当（2003年9月～2004年8月）、図書館長（2007年10月～2011年9月）などに任じられ、この間、現在の商学部に残る多くのプロジェクトに従事されました。例えばホームページの開設、ホームカミングデーの立案・企画、『商学部百年史』の編集・発行、新校舎の建築、図書館の情報化などの事業の責任者を務められました。とりわけ『商学部百年史』については、『商学部70周年史』以降の30年間の資料の蒐集・整理は大変な苦勞を伴うものでした。

また、根田教授は教育体制の整備でも大きなご貢献を果たしてこられました。根田教授は日本大学教育制度研究所所員に就任するとともに（1986年4月～1992年3月）、商学部では、教育改善委員会委員長などを務め、相対評価の導入、初年次教育の導入、入学前教育の導入などに尽力されました。また総合学術情報センターのプロジェクトスタッフやプロジェクトリーダーとして、日本大学図書館の情報化やラーニングコモンズの整備に尽力されております。

一方、根田教授の学外での研究・社会貢献に目を向けてみますと、根田教授の専門である商法、会社法そして企業取引法の分野で多くの研究や著作を発表されております。根田教授のこれまでの著作は、学術書8冊（共編著を含む）、概説書・演習書28冊（共編著を含む）、実務書26冊（監修や共編著を含む）であり、学術論文20編、判例研究21編、研究ノートやその他の著作は50編となっております。また国際商取引学会理事などの学会活動や、経済産業省の研究委員会委員や全国商工会連合会など各種団体の委員など社会活動にも尽力されました。

そして、根田教授は後身の育成にも熱心であり、研究会などの活動を通じて、学問領域を問わず、志のある学内外の若い研究者を陰に陽に支援し、商学部卒業生からの2名の商法研究者を含め、本学や他大学で活躍される研究者を多数輩出されております。

根田教授には、今後とも日本大学商学部に対して積極的にご意見・ご提言をいただきますようお願い申し上げますとともに、根田教授の今後のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。巻頭の言葉とさせていただきます。